

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL https://www.kimuranet.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 野村 真也 TEL 011-721-4311
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日2024年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,993	△3.3	1,814	△17.3	1,983	△15.8	1,031	△20.5
2023年3月期	35,143	2.3	2,194	4.6	2,356	5.1	1,297	8.9

(注) 包括利益 2024年3月期 1,430百万円 (△14.6%) 2023年3月期 1,675百万円 (12.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	69.55	—	7.0	7.5	5.3
2023年3月期	87.47	—	9.4	9.2	6.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	26,909	17,985	57.0	1,033.40
2023年3月期	26,164	16,809	54.8	966.99

(参考) 自己資本 2024年3月期 15,328百万円 2023年3月期 14,343百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,006	△1,108	△401	3,864
2023年3月期	1,901	△641	△1,233	3,367

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	207	16.0	1.5
2024年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	207	20.1	1.4
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	14.00	14.00		19.1	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,800	△0.5	740	△41.8	770	△42.3	390	△44.0	26.29
通期	35,000	3.0	1,850	2.0	2,030	2.4	1,090	5.7	73.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	15,180,000株	2023年3月期	15,180,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	347,321株	2023年3月期	347,297株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	14,832,688株	2023年3月期	14,832,737株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,768	△7.7	501	△19.9	704	△17.0	505	△17.4
2023年3月期	11,665	0.1	626	9.0	848	3.8	612	0.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	34.10	—
2023年3月期	41.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	12,758		10,442		81.8		704.01	
2023年3月期	12,319		9,983		81.0		673.06	

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,442百万円 2023年3月期 9,983百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっては、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当期の経営成績の概況	2
（2）当期の財政状態の概況	3
（3）当期のキャッシュ・フローの概況	3
（4）今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
（1）連結貸借対照表	5
（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
（3）連結株主資本等変動計算書	9
（4）連結キャッシュ・フロー計算書	11
（5）連結財務諸表に関する注記事項	12
（継続企業の前提に関する注記）	12
（セグメント情報等）	12
（1株当たり情報）	16
（重要な後発事象）	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、経済活動の正常化が進むとともに、雇用情勢にも改善の動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となる一方で、円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクに起因した資源・エネルギー価格の高止まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は減少傾向で推移しており、とりわけ持家は大きく落ち込んでおります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から住宅展示場の集客が減少したことに加え、資材価格の高騰による住宅価格の上昇が消費者マインドを低下させているものと考えております。

個人消費は、外食や旅行などのサービス消費が牽引して回復基調にありますが、電気代や生活必需品などの物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりもあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。これらの結果、売上高339億93百万円（前連結会計年度比3.3%減）、営業利益18億14百万円（同17.3%減）、経常利益19億83百万円（同15.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益10億31百万円（同20.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

2023年度3月累計の全国における新設住宅着工戸数は800,176戸（前年同月比7.0%減）、当社の主力市場である北海道では28,419戸（同3.9%減）と前年を下回る水準で推移しております。その中で当社の業績に大きく影響を及ぼす持家は、全国で219,622戸（前年同月比11.5%減）、北海道で8,157戸（同14.1%減）と全国、北海道ともに前年を大きく下回る水準で推移しております。

このような状況のもと、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品の販売強化と適正価格による販売に努めてまいりました。これらの結果、売上高100億69百万円（前連結会計年度比7.3%減）、営業利益7億99百万円（同13.2%減）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、コロナ特需の反動もあり、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりました。これらの結果、売上高216億7百万円（前連結会計年度比1.3%減）、営業利益10億27百万円（同24.9%減）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切な管理と効率的な運用を心掛けておりますが、売上高4億22百万円（前連結会計年度比9.2%減）、営業利益2億74百万円（同2.4%減）となりました。

（足場レンタル事業）

業務の効率化と経費節減に努めており、売上高5億88百万円（前連結会計年度比23.6%減）、営業利益31百万円（同10.2%増）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、商業施設の受注が好調だったこともあり、売上高13億4百万円（前連結会計年度比13.8%増）、営業利益95百万円（同683.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は111億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4億97百万円増加したことと、売上債権が1億76百万円、商品が1億19百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は158億円となり、前連結会計年度末に比べ5億65百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が65百万円、無形固定資産が2億54百万円、投資その他の資産が2億45百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は269億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は61億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億56百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が6億円増加したことと、買入債務が2億12百万円、未払法人税等が2億87百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は27億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億87百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が1億21百万円増加したことと、長期借入金が7億30百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は89億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少いたしました。

(純資産)

連結会計年度末における純資産合計は179億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億76百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は57.0%（前連結会計年度末は54.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、当連結会計年度末には38億64百万円となり、前連結会計年度末より4億96百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は20億6百万円（前連結会計年度は19億1百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が19億86百万円、減価償却費が8億16百万円及び法人税等の支払額9億71百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は11億8百万円（前連結会計年度は6億41百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出11億21百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は4億1百万円（前連結会計年度は12億33百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金純増額6億円、長期借入金の返済による支出7億30百万円、配当金の支払額2億7百万円等によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な物価高と金融引き締めによる景気の下押しリスクに加えて、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化など、地政学リスクに起因した資源価格やエネルギー価格の高騰が続いており、景気の先行きについては予断を許さない状況で推移するものと思われれます。一方国内では、政府による新型コロナウイルス感染症の5類移行後、社会経済活動の正常化が進みましたが、人口減少による市場規模の縮小、少子高齢化による労働力不足など、依然先行きは不透明で厳しい経営環境が続くものと予想されます。各事業別分野における施策は以下の通りです。

卸売事業においては、人口減少が進む国内では住宅需要の低迷は避けられず、原材料価格やエネルギー資源の高騰も生じており、コスト面で厳しい状況が続くものと見込んでおります。このような環境において、換気関連商品を中心に販路拡大・売上増強に注力した営業活動を進めてまいります。

小売事業においては、本州系大型店の出店や業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境が続くものと思われれます。このような環境において、お客様へ価値あるサービスを提供し、リアル店舗の強みを活かして売場の進化を図ってまいります。全ての部門でお客様からの要望にお応えできる専門知識の提供に努めます。

不動産事業においては、不動産動向の情報収集を行うとともに、所有不動産を活性化させて収益確保を目指してまいります。

足場レンタル事業においては、戸建住宅向けから中高層向け足場施工への営業戦略上のシフトにより、幅広いお客様へ安心・安全を提供し更なる事業拡大に努めてまいります。また、施工の標準化と技術指導、安全パトロールを強化して施工力の向上を図ります。

サッシ・ガラス施工事業においては、キムラグループとしてのシナジー効果を十分に発揮し、業容拡大を図ってまいります。

以上により次期の業績見通しは、売上高350億円（当連結会計年度比3.0%増）、営業利益18億50百万円（同2.0%増）、経常利益20億30百万円（同2.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益10億90百万円（同5.7%増）の見込みであります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,380,794	3,878,297
受取手形、売掛金及び契約資産	2,139,979	1,982,673
電子記録債権	271,929	252,961
商品	4,425,659	4,306,309
販売用不動産	126,270	142,097
仕掛販売用不動産	372,728	364,025
その他の棚卸資産	36,382	27,911
その他	177,857	156,156
貸倒引当金	△2,327	△1,720
流動資産合計	10,929,276	11,108,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,800,300	7,283,981
土地	2,838,302	2,972,675
賃貸用建物（純額）	529,415	500,390
賃貸用その他資産（純額）	25,001	21,127
賃貸用土地	1,452,416	1,452,416
リース資産（純額）	33,988	33,156
建設仮勘定	14,175	365,935
その他（純額）	357,240	486,785
有形固定資産合計	13,050,842	13,116,467
無形固定資産		
その他	180,350	434,865
無形固定資産合計	180,350	434,865
投資その他の資産		
投資有価証券	849,694	1,071,405
長期貸付金	10,648	8,772
繰延税金資産	550,090	573,088
その他	594,598	601,545
貸倒引当金	△844	△5,154
投資その他の資産合計	2,004,187	2,249,657
固定資産合計	15,235,381	15,800,991
資産合計	26,164,657	26,909,704

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,744,689	1,570,682
電子記録債務	372,324	334,253
短期借入金	2,120,000	2,720,000
リース債務	15,357	12,468
未払法人税等	538,824	250,867
賞与引当金	201,510	208,945
その他	981,770	1,033,766
流動負債合計	5,974,477	6,130,983
固定負債		
長期借入金	1,890,000	1,160,000
リース債務	18,603	19,332
繰延税金負債	34,809	156,099
再評価に係る繰延税金負債	164,277	164,277
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	329,582	339,489
資産除去債務	424,654	425,854
その他	490,045	499,188
固定負債合計	3,380,983	2,793,253
負債合計	9,355,460	8,924,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	12,464,859	13,288,878
自己株式	△133,029	△133,042
株主資本合計	13,959,607	14,783,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301,947	462,961
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	383,533	544,547
非支配株主持分	2,466,055	2,657,306
純資産合計	16,809,196	17,985,467
負債純資産合計	26,164,657	26,909,704

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	35,143,560	33,993,703
売上原価	24,841,360	23,944,708
売上総利益	10,302,200	10,048,995
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	289,965	271,219
従業員給料及び賞与	3,378,546	3,472,300
賞与引当金繰入額	201,510	208,945
退職給付費用	51,501	32,640
減価償却費	725,309	705,281
その他	3,460,907	3,544,391
販売費及び一般管理費合計	8,107,741	8,234,777
営業利益	2,194,458	1,814,217
営業外収益		
受取利息	2,229	2,190
受取配当金	24,887	25,741
仕入割引	71,793	66,094
資材売却収入	—	28,000
その他	85,431	66,542
営業外収益合計	184,342	188,569
営業外費用		
支払利息	13,899	11,709
その他	8,025	7,732
営業外費用合計	21,925	19,441
経常利益	2,356,876	1,983,345
特別利益		
固定資産売却益	9,088	1,254
受取保険金	203,817	1,774
特別利益合計	212,905	3,028
特別損失		
固定資産除売却損	1,333	280
災害による損失	63,850	—
特別損失合計	65,183	280
税金等調整前当期純利益	2,504,598	1,986,093
法人税、住民税及び事業税	919,506	688,265
法人税等調整額	△36,470	27,932
法人税等合計	883,036	716,198
当期純利益	1,621,562	1,269,895
非支配株主に帰属する当期純利益	324,129	238,219
親会社株主に帰属する当期純利益	1,297,432	1,031,676

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,621,562	1,269,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,988	161,086
その他の包括利益合計	53,988	161,086
包括利益	1,675,551	1,430,981
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,351,444	1,192,690
非支配株主に係る包括利益	324,106	238,290

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,427	11,360,252	△133,001	12,855,029
当期変動額					
剰余金の配当			△192,825		△192,825
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,297,432		1,297,432
自己株式の取得				△28	△28
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,104,607	△28	1,104,578
当期末残高	793,350	834,427	12,464,859	△133,029	13,959,607

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	247,935	81,585	329,521	2,188,989	15,373,539
当期変動額					
剰余金の配当					△192,825
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,297,432
自己株式の取得					△28
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	54,011	—	54,011	277,066	331,078
当期変動額合計	54,011	—	54,011	277,066	1,435,656
当期末残高	301,947	81,585	383,533	2,466,055	16,809,196

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	793,350	834,427	12,464,859	△133,029	13,959,607
当期変動額					
剰余金の配当			△207,657		△207,657
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,031,676		1,031,676
自己株式の取得				△13	△13
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	824,018	△13	824,005
当期末残高	793,350	834,427	13,288,878	△133,042	14,783,612

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	301,947	81,585	383,533	2,466,055	16,809,196
当期変動額					
剰余金の配当					△207,657
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,031,676
自己株式の取得					△13
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	161,014	－	161,014	191,250	352,265
当期変動額合計	161,014	－	161,014	191,250	1,176,270
当期末残高	462,961	81,585	544,547	2,657,306	17,985,467

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,504,598	1,986,093
減価償却費	814,049	816,507
のれん償却額	36,106	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,504	7,434
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,905	3,702
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,913	9,907
受取利息及び受取配当金	△27,117	△27,932
支払利息	13,899	11,709
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△7,755	△973
無形固定資産除売却損益 (△は益)	—	0
受取保険金	△203,817	△1,774
災害損失	63,850	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△88,924	216,230
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△656,445	120,696
その他の資産の増減額 (△は増加)	△111,301	△22,224
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,164	△212,078
未払消費税等の増減額 (△は減少)	134,493	12,423
その他の負債の増減額 (△は減少)	62,523	40,186
小計	2,546,507	2,959,908
利息及び配当金の受取額	27,117	27,932
利息の支払額	△13,898	△12,055
保険金の受取額	203,817	1,774
災害損失の支払額	△63,850	—
法人税等の支払額	△798,271	△971,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901,422	2,006,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△624	△794
有形固定資産の取得による支出	△622,792	△828,648
有形固定資産の売却による収入	78,945	1,619
無形固定資産の取得による支出	△108,640	△292,460
投資有価証券の取得による支出	△3,876	△4,237
投資有価証券の売却による収入	8,942	10,086
投資有価証券の償還による収入	5,000	5,000
貸付金の回収による収入	1,031	795
出資金の回収による収入	200	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△641,813	△1,108,590
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△867,000	600,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△710,000	△730,000
配当金の支払額	△193,174	△207,732
非支配株主への配当金の支払額	△47,040	△47,040
リース債務の返済による支出	△16,742	△16,421
自己株式の取得による支出	△28	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,233,985	△401,207
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,623	496,707
現金及び現金同等物の期首残高	3,341,712	3,367,335
現金及び現金同等物の期末残高	3,367,335	3,864,043

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「卸売事業」、「小売事業」、「不動産事業」、「足場レンタル事業」及び「サッシ・ガラス施工事業」の5つを報告セグメントとしております。

「卸売事業」は、住宅用資材及びビル用資材等の販売を行っております。「小売事業」は、建築資材、DIY用品、日用雑貨等の販売を行うホームセンターを運営しております。「不動産事業」は、不動産の賃貸及び販売を行っております。「足場レンタル事業」は、建築足場のレンタルを行っております。「サッシ・ガラス施工事業」は、アルミサッシなどのガラス製品の販売、加工及び施工を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	10,865,276	21,894,562	64,978	771,032	1,147,116	34,742,965
その他の収益	—	—	400,594	—	—	400,594
外部顧客への売上高	10,865,276	21,894,562	465,573	771,032	1,147,116	35,143,560
セグメント間の 内部売上高又は振替高	476,382	1,912	47,230	2,891	4,216	532,633
計	11,341,658	21,896,474	512,803	773,923	1,151,333	35,676,193
セグメント利益又は損失 (△)	920,838	1,367,222	281,720	28,590	12,186	2,610,557
セグメント資産	3,398,193	14,175,317	3,620,840	624,306	711,592	22,530,250
その他の項目						
減価償却費	15,279	663,488	94,413	17,307	13,388	803,877
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,377	301,188	333,235	—	236	638,037

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	10,069,445	21,607,744	—	588,781	1,304,949	33,570,920
その他の収益	—	—	422,782	—	—	422,782
外部顧客への売上高	10,069,445	21,607,744	422,782	588,781	1,304,949	33,993,703
セグメント間の 内部売上高又は振替高	417,197	1,634	37,080	1,250	3,649	460,811
計	10,486,642	21,609,378	459,862	590,031	1,308,599	34,454,514
セグメント利益又は損失 (△)	799,665	1,027,001	274,977	31,508	95,426	2,228,580
セグメント資産	3,417,845	14,370,994	3,565,301	865,392	815,441	23,034,975
その他の項目						
減価償却費	15,234	643,094	117,098	13,900	11,989	801,318
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	230,337	451,386	1,210	180,857	5,361	869,151

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	35,676,193	34,454,514
セグメント間取引消去	△532,633	△460,811
連結財務諸表の売上高	35,143,560	33,993,703

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,610,557	2,228,580
セグメント間取引消去	187	863
全社費用 (注)	△416,286	△415,225
連結財務諸表の営業利益	2,194,458	1,814,217

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22,530,250	23,034,975
本社管理部門に対する債権の相殺消去	△69,930	△255,170
全社資産 (注)	3,704,336	4,129,899
連結財務諸表の資産合計	26,164,657	26,909,704

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券及び有形固定資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	803,877	801,318	10,172	15,189	814,049	816,507
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	638,037	869,151	102,260	281,830	740,297	1,150,982

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	—	36,106	—	36,106
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—

当連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	966.99円	1,033.40円
1株当たり当期純利益	87.47円	69.55円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,297,432	1,031,676
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,297,432	1,031,676
期中平均株式数 (株)	14,832,737	14,832,688

(重要な後発事象)

該当事項はありません。